



公益社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル
TEL(03)3357-3741/FAX(03)3357-7444
<http://www.jcbl.or.jp/> E-mail:info@jcbl.or.jp

2019年9月25日

報道関係各位

世界ブリッジ選手権 ウィメン 24年ぶりベスト8

9月14日から、武漢（中国）で開催されている第44回世界ブリッジ選手権の予選ラウンドが22日、準々決勝が24日に終了しました。公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟（東京都、会長：細田博之）が派遣した日本代表ウィメンチームは予選ラウンドを6位で通過し決勝ラウンドに進出しました。準々決勝では予選1位の中国と対戦し敗れましたが、日本ウィメンチームの世界選手権のベスト8進出は1991年、1995年に続き24年ぶり通算3度目です。欧米の強豪プレイヤーが目立つ中、3ペア6名の日本代表全員が上位の成績を収め、中でも柳澤彰子ー福吉由紀ペアは予選トップのスコアで世界を驚かせました。

同大会は、世界8エリアの代表国と開催国代表のオープン部門、ウィメン部門、シニア部門（61歳以上）、ミックス部門の各24チームで総当たりの予選を8日間かけて行い、以後上位8チームのトーナメント戦で世界チャンピオンを決める、最も歴史のある大会です。同じく日本代表のシニアチームは、惜しくも予選通過はなりませんでした。



世界選手権でベスト8入りを果たしたウィメン代表と監督（左より）
柳澤彰子、福吉由紀、佐藤牧子、古田一雄監督、下保俊子、宮国亜矢子、大手瑠利

お問い合わせ：公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟（高野）

Tel:03-3357-3741 Fax:03-3357-7444 E-mail:info@jcbl.or.jp URL:<http://www.jcbl.or.jp/>